

■令和元年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

1 概 況

(1) 総括事項

福岡市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて29.8キロメートルで営業しています。

福岡市交通局では、将来にわたって安全で快適な輸送サービスを提供していくため、平成31年2月に、令和元年度以降10年間の経営の基本方針と総合的な取組方針を示した「福岡市地下鉄経営戦略」を策定しており、令和元年度は、この戦略に基づき各取り組みを着実に推進しました。

① 業務実績

令和元年度の利用者数は、年間輸送人員173,294,363人（1日平均473,482人）で、平成30年度と比較して1,743,583人（1.0パーセント）増加しています。内訳は、定期の利用者が87,811,575人（1日平均239,922人）で、平成30年度と比較して2,500,335人（2.9パーセント）増加しており、定期外の利用者が85,482,788人（1日平均233,560人）で、平成30年度と比較して756,752人（0.9パーセント）減少しています。また、乗車料収入（消費税抜き）は289億9,363万円で、平成30年度と比較して、1億4,842万円（0.5パーセント）の増となっています。

増客増収の取組については、企画乗車券の販売促進やICカード「はやかけん」電子マネー加盟店の拡充などによるお客様の利便性向上、民間タイアップによる利用促進キャンペーン、イベント等主催者と連携した臨時列車のきめ細かな運行など、乗客誘致活動を積極的に推進するとともに、広告の販売促進や、お客様ニーズに対応した新規店舗の誘致及び傘シェアリングサービス機の新設など駅空間の有効活用に取り組んでいます。

② 建設改良等

ア 七隈線延伸事業

安全対策に万全を期しながら土木本体工事等を進めつつ、施設関連工事に順次着手するとともに、車両製作の契約を行うなど、着実に事業を推進しています。

イ 営業線改良事業

施設や車両等の健全性・安全性を確保するため、2000系車両の大規模改修や土木構造物の改良工事、姪浜駅リニューアル等を実施するとともに、天神ビッグバンによるまちづくりにあわせて、天神駅東口のリニューアルに取り組んでいます。

また、快適で質の高いサービスを提供するため、駅案内サイン等の改良や昇降機の充実に取り組んでいます。

③ 財政状況

令和元年度の決算については、総収益374億2,453万円に対し、総費用は302億4,521万円で、差引71億7,932万円の純利益が生じました。

その結果、令和元年度末における累積欠損金は、1,094億8,509万円となっています。

今後とも、経営戦略に定めた経営理念の下、安全・安心を最優先に、経営の健全化と質の高いサービスの提供に努めます。

2. 収益の収支及び資本の収支

収益の収支	金額
収入	40,130 百万円
支出	32,565 百万円
差引	7,565 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	7,180 百万円

平成30年度末累積損益 △ 116,665百万円
 令和元年度損益 7,180百万円
 令和元年度末累積損益 △ 109,485百万円

資本の収支	金額
収入	29,471 百万円
支出	43,470 百万円
差引	△ 13,999 百万円

※ 損益勘定留保資金等で補てん

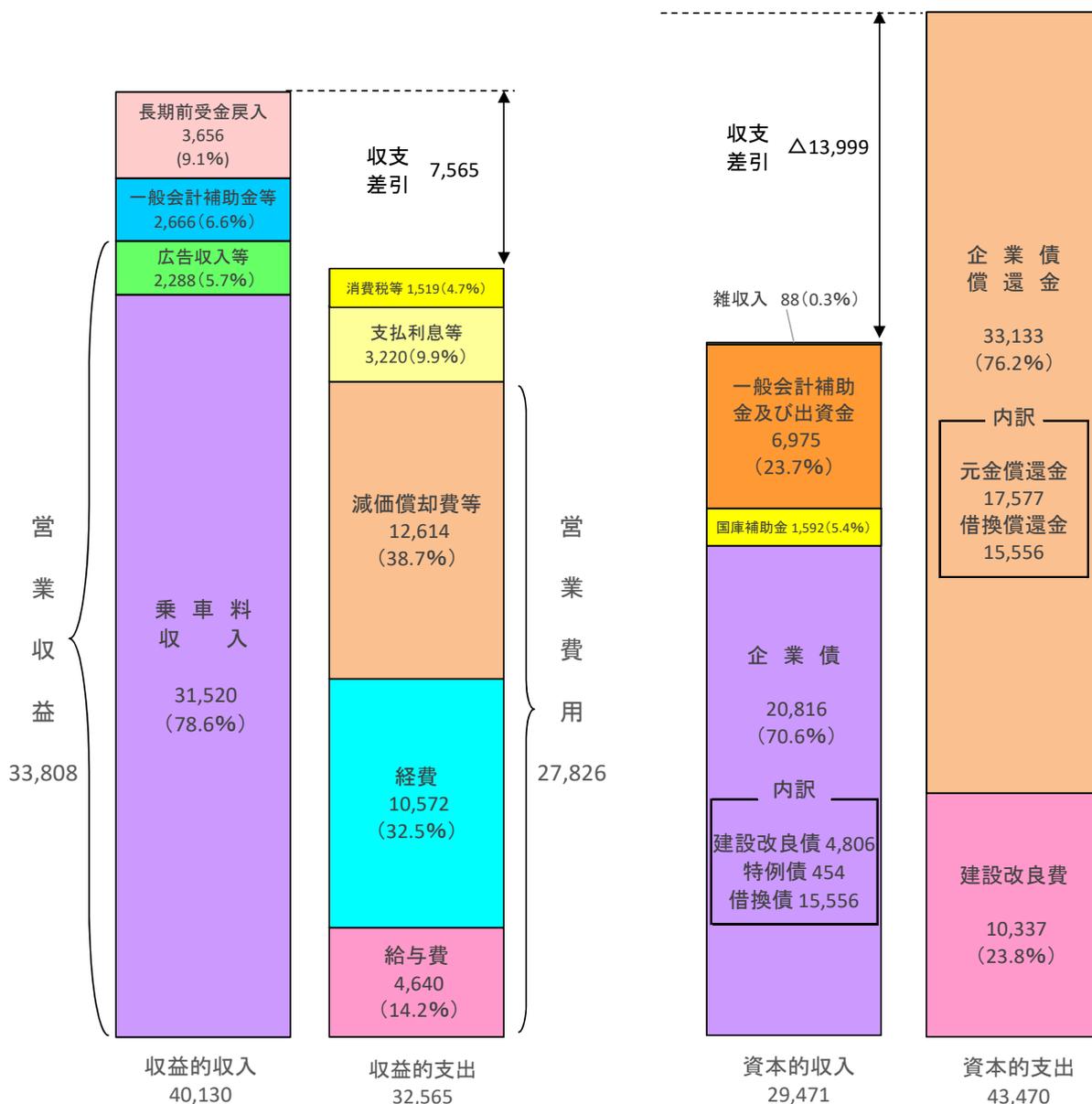
令和元年度末累積資金過不足額 △ 4,293 百万円

収益の収支

(単位:百万円)

資本の収支

(単位:百万円)



3. 業務量(年間又は年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,746,087.4 キロメートル

(4) 年間輸送人員 173,294,363人

(5) 一日平均輸送人員 473,482人

○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	403,449 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	93,065 人
乗継ぎ分(c)	23,032 人
全線計(a)+(b)-(c)	473,482 人

4. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	6,672,154 千円
営業線改良事業	事業費	3,637,359 千円

5. 重要施策

① 七隈線延伸事業の推進

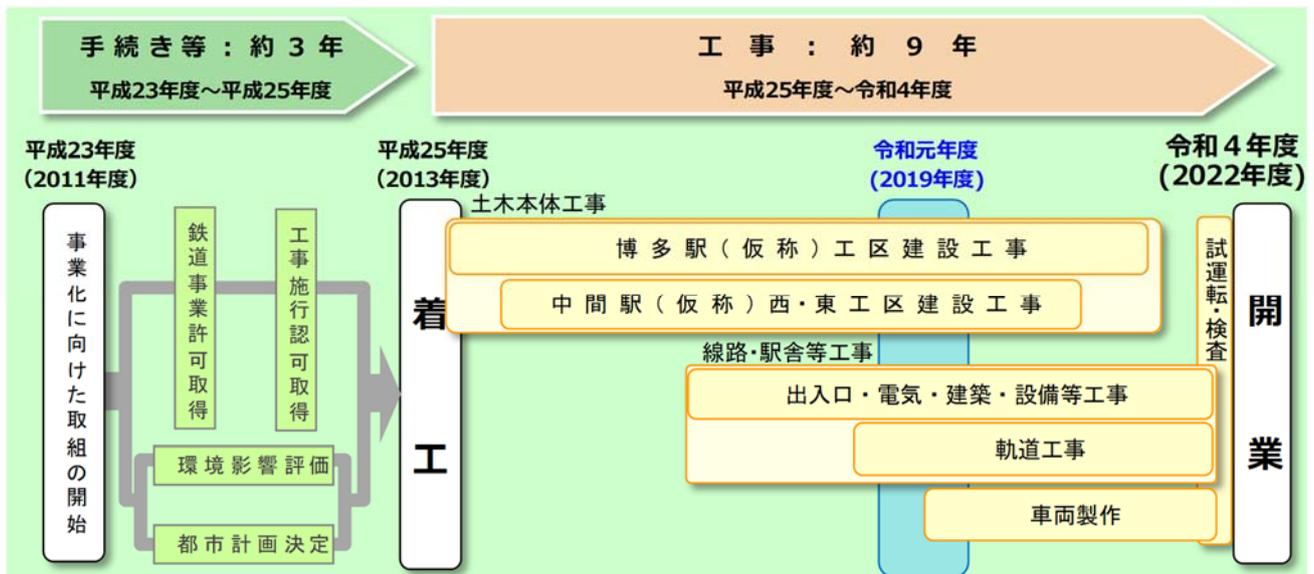
6,672,154 千円

安全対策に万全を期しながら、土木本体工事等を進めつつ、施設関連工事に順次着手するとともに、車両製作の契約を行うなど、着実に事業を推進した。

今後も安全を最優先に着実に事業を推進するとともに、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かり易く発信する。

<事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇建設費 約587億円
- ◇開業予定 令和4年度
- ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日(需要定着後)うち新規利用者数…約2.3万人/日



(単位：千円)

事業名	最終予算 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
七隈線延伸事業	12,651,000	6,672,154	5,909,779	69,067	土木本体工事 中間駅(仮称)出入口工事 3000系車両製作の契約 軌道材料製作 等

② 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図ったほか、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、テロ対策の強化等に取り組んだ。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信した。

ア 施設、車両などの安全性の確保

611,390 千円

経年劣化した土木構造物（トンネル等）について、年次計画により改良工事を実施した。

また、姪浜駅において、経年劣化した駅施設のリニューアル工事を行ったほか、博多駅において、経年劣化した自動列車制御装置（ATC）を年次計画に基づき更新した。

さらに、2000系車両については、安全性の確保・快適性の向上のため、車体の補修や機器の更新など大規模な改修を行った。

姪浜車両基地については、安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業の設計を実施した。

（単位：千円）

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
土木構造物改良工事	151,220	151,219	-	1	トンネル断面修復 等
姪浜駅リニューアル事業	116,919	114,573	-	2,346	エスカレーター設置工事 ホーム上屋改修工事
自動列車制御装置 (ATC)更新	16,418	16,417	-	1	対象駅:博多駅(7 駅中 6 駅目)
2000系車両大規模 改修	372,000	300,585	70,540	875	車体の補修、主要機器の更 新 等
姪浜車両基地大規模 改修	43,000	28,596	13,000	1,404	大規模改修事業に伴う実施 設計
合 計	699,557	611,390	83,540	4,627	

③ 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組んだほか、超高齢社会に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進した。

ア みんなが使いやすい環境づくり

52,805 千円

さらなる駅バリアフリールートの充実を図るため、空港・箱崎線において昇降機増設の設計や工事を実施した。

イ 快適・便利な環境づくり

31,106 千円

お客様に気持ち良くご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みの強化を行った。

また、より快適にご利用いただけるよう、空調機能を改善した。

ウ 超高齢社会に対応したサービスの提供

4,125 千円

さらなる高齢化に対応するため、駅構内のベンチの増設やトイレの洋式化により、高齢者が使いやすいサービスの提供に取り組んだ。

エ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

98,222 千円

福岡市地下鉄を初めて利用されるお客様もスムーズに移動ができるよう、ピクトグラムなどを活用したよりわかりやすい案内サインに改修した。

また、外国人観光客が安心して利用できるよう、タブレット端末を活用した非常時等における多言語案内サービスの強化に取り組んだほか、トイレの洋式化を行った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア みんなが使いやすい環境づくり	128,048	52,805	73,311	1,932	
昇降機の充実	128,048	52,805	73,311	1,932	姪浜駅エスカレーター設置工事、博多駅筑紫口エスカレーター設置工事实施設計、天神駅東口エレベーター設置工事实施設計 等 (再掲額を含む)
イ 快適・便利な環境づくり	66,294	31,106	25,000	10,188	
乗車マナーの向上	9,913	2,626	-	7,287	駅構内放送の制作・供給 啓発ポスター製作 等
駅空調の改善	56,381	28,480	25,000	2,901	空調室外機移設 等
ウ 超高齢社会に対応したサービスの提供	16,000	4,125	10,885	990	
駅施設の改良	16,000	4,125	10,885	990	ベンチ増設(薬院駅、別府駅) トイレの洋式化
エ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供	111,302	98,222	10,885	2,195	
駅案内サイン等の改良	74,600	74,569	-	31	ホームドア駅名表示(空港・箱崎線全駅)、誘導サイン(呉服町駅から貝塚駅まで) 等
インバウンド対策の拡充	36,702	23,653	10,885	2,164	音声・文字情報による多言語案内、地下鉄駅コンシェルジュ、トイレの洋式化 等 (再掲額を含む)
合計	321,644	186,258	120,081	15,305	

④ まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進した。

また、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進した。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 88,604 千円

天神駅において、地下鉄設備の更新や天神ビッグバンによるビル建替え等にあわせて、天神駅東側コンコースのレイアウトを変更し、駅の利便性・回遊性の向上や、さらなるバリアフリー経路の充実のほか、店舗区画を含む賑わいスペースの創出など、駅のリニューアルの取組みを進めた。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 3,263 千円

各駅の個性化・活性化を図るため駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源などの特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組み、各駅の魅力を効果的に発信した。

ウ 環境対策に関する取組み 105,056 千円

省エネの取組みとして、駅施設照明のLED化等を計画的に実施し、消費エネルギーの削減に取り組んだ。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など	156,380	88,604	67,763	13	
天神駅東口リニューアル事業	156,380	88,604	67,763	13	駅務員休憩室等改良工事、エレベーター設置工事 事実施設設計 等 (再掲額を含む)
イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携	7,239	3,263	-	3,976	
駅の魅力づくり	7,239	3,263	-	3,976	副駅名の設定(六本松駅)、駅の装飾
ウ 環境対策に関する取組み	107,000	105,056	-	1,944	
駅照明のLED化改良工事	107,000	105,056	-	1,944	東比恵駅、福岡空港駅
合計	270,619	196,923	67,763	5,933	

⑤ 経営基盤の強化

経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・構内営業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組んだほか、アセットマネジメントや経営の効率化を推進した。

また、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組んだ。

ア 戦略的な営業施策の推進

21,027 千円

生産年齢人口の減少といった人口構成の変化や、国内外からの入込観光客などの増加など、今後の地下鉄を取り巻く外部環境の変化に対応しながら、より効果的、効率的に増客増収を図るため、営業データ保存サーバ及びデータ分析環境を構築した。

イ 人材確保と育成

23,072 千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の改善に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 戦略的な営業施策の推進	23,210	21,027	-	2,183	
営業データの分析・活用	23,210	21,027	-	2,183	営業データ保存サーバおよび分析環境の構築
イ 人材確保と育成	32,020	23,072	-	8,948	
安全・安心を支える人材の育成	32,020	23,072	-	8,948	派遣研修、資格取得支援、駅務教育訓練環境の整備 等
合計	55,230	44,099	-	11,131	